



今年度のESDの重点目標（取組）

地域とのつながりを広げよう。
学校全体でSDGsの意識を高めよう。

【令和5年度 ESD 実践報告】

01 地域との連携



今年度はコロナ禍の制限がなくなり、たくさんの地域の方と交流する機会を設けました。また、その中でSDGsに関する講話も多数していただくことができました。



- ・(1年生) 保育園との交流 お年寄りの方から昔遊びを学ぶ活動
- ・(2年生) 町探検として地域のお店での体験学習
- ・(3年生) 消防署の方に来ていただいた防火体験、道の駅買い物体験
- ・(4年生) 車いす体験、海の落語プロジェクト、ごみの学習
- ・(5年生) 特別支援学校との交流
- ・(6年生) 被爆体験講話、薬物乱用防止教室
- ・(特別支援学級) 近隣小学校との合同芋ほり



(1年：保育園交流)



(3年：防火体験)

02 職員、児童への意識づけ



児童への意識づけとしては、SDGs委員会の活動の中でポスターを作成し、昇降口へ掲示し、皆が見ることができるようになりました。

職員への意識づけとしては、毎月の推進委員会でSDGsに関連付けた授業をどのように行うのかを話し合う機会を設けました。

ユネスコノーベル委員会 ESD授業展開について

(4) 学年

1. 教科 社会
2. 単元名 「水はどこから」
3. どのゴールにつながるか
6 安全な水とトイレを世界中に

数科的に考えられるか	未来使の手立として計画が立てられるか	コミュニケーションが行われるか	多面的、総合的に考えられるか	他者と協力する力	つながりをつくる力	感心で参加する力
○	○	○	○	○	○	○

4. どうやるか(流れ、ポイント、SDGsカードをどの場面に出すのか)
 - ・水の循環や水を再利用している施設について調べ、限りある水を大切に使うために自分たちに何が出来るかを考える活動。
 - ・学校や家での生活の中で水を使う場面を想像し、出来ることを考えたり、ポスターを作って伝えたりする案を出す中でSDGs(目標6)につなげていく。(カードを提示する)。

(毎回このような資料を作成し、話し合いをしています)